

原点からのメッセージ

～キリスト教保育の始まりを担った女性宣教師たち～

ひろわたり じゅんこ
講演：広渡 純子 氏 (聖和短期大学・九州ルーテル学院大学元学長、名誉教授)

日時：2024年9月7日(土) 10時～12時 (9時30分受付)

場所：メアリー・イザベラ・ランバスチャペル 聖和キャンパス山川記念館2階

司会：小見 のぞみ (RCCECセンター長)

明治から大正期、日本ではまだ幼児教育の意味や重要性がほとんど理解されていなかった時代に、日本の各地にキリスト教の幼稚園や保育者養成機関が創立され、キリスト教保育が始まりました。この「始まりの時」を担ったのは多くがキリスト教の女性宣教師たちでした。これら女性宣教師たちによって1906(明治39)年に設立されたJKU(Japan Kindergarten Union)の年次報告書には、全国各地の加盟園や加盟校からの現状報告が写真とともに数多く残されており、先駆者たちの喜びや苦悩、感謝と祈りを知ることのできる貴重な資料となっています。

キリスト教保育の始まりからすでに150年が過ぎようとしている今、キリスト教保育を取り巻く状況は当時とはまた違う厳しさの中にあります。しかし、時代の急速な変化と情報の渦の中で迷子になりそうな今だからこそ、これらキリスト教保育の「始まりの時」を担った先駆者たちが築いてくれた確かな土台が私たちにはあることをもう一度思い起こす必要があるのではないのでしょうか。

キリスト教保育の「今」を担う私たちに、時代を超えて届けられる原点からのメッセージに耳を傾けてみませんか？
——講師からの呼びかけ

<入場無料・要申込み>

右記QRコードまたはURLより
9月2日(月)までにお申込みください。

申込み用URL：<https://forms.office.com/r/9sryR1N0Fm>



主催：関西学院短期大学 キリスト教教育・保育研究センター(RCCEC)

〒662-0827 西宮市岡田山7-54 Tel. 0798-54-6504 tandai-jimu@kwansei.ac.jp (短大事務室)